



Voice Editor Essential マニュアル

- 市販の音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

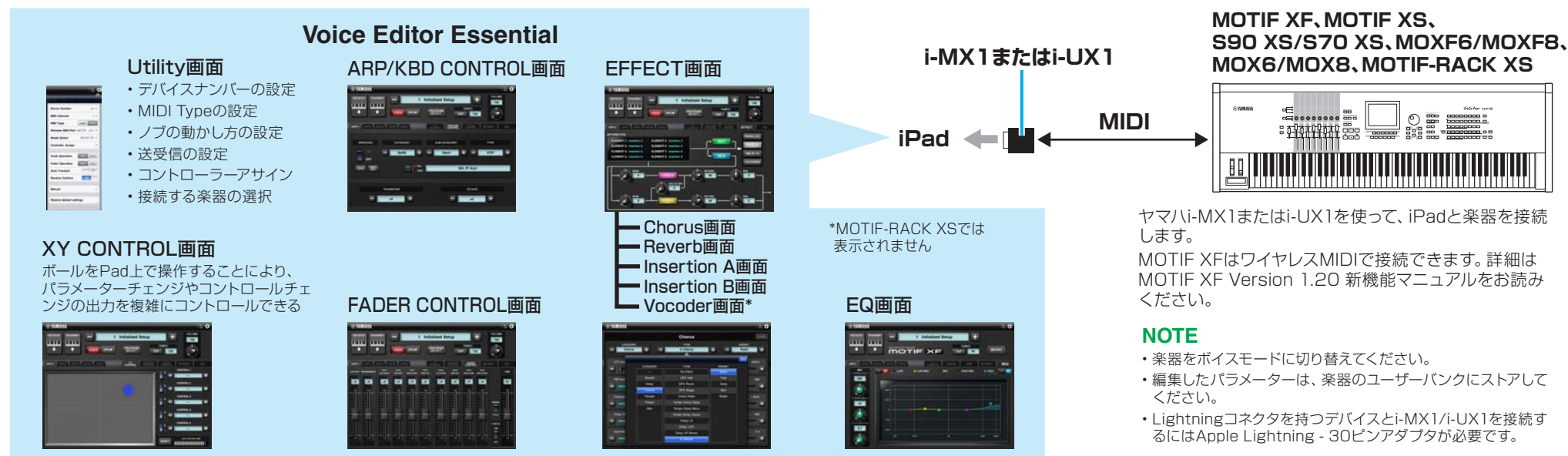
© 2011-2013 Yamaha Corporation. All rights reserved.

MOTIF XF シリーズ、MOTIF XS シリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8、MOTIF-RACK XS の設定については、楽器本体の取扱説明書をご参照ください。

- このファイルに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Voice Editor Essential の構成

Voice Editor Essential は、MOTIF XF シリーズ、MOTIF XS シリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8、MOTIF-RACK XS のボイスモードにおける ARP/ フェーダー / EFFECT/EQ に関する音色パラメーターを iPad から編集するアプリケーションです。



このマニュアルでは MOTIF XF を例にしています。接続する楽器により、画面やボタンがない場合があります。

タイトルバーと Utility 画面

ここでは、全体に共通した設定を行ないます。

タイトルバー

Utility 画面

チャンネルメッセージの送信チャンネルを設定します。

ワイヤレス接続した MIDI 機器の MIDI ポートを
選択します。

接続する楽器を選択します。

各コントローラーに MIDI コントロールチェンジを
設定します。

フェーダーの動作を選択します。
jump: フェーダーのどの位置をタップしても
フェーダーノブが追従します。
catch: フェーダーノブをタップしてスライドした
場合にのみフェーダーノブが追従します。

「ON」にすると、[RECEIVE] をタップしたときに、
確認メッセージを表示します。

* テンプレートとは
EFFECT など各画面の設定を一括で記憶します。この記憶データ
をテンプレートと呼びます。テンプレートは複数記憶することがで
き、それぞれに名前をつけたり、呼びだしたり、初期化することが
できます。

MIDI による入力があると IN の LED アイコンが
点滅します。
MIDI 出力時は OUT の LED アイコンが点滅します。

タップすると Utility 画面が開きます。
画面が開いた状態でタップすると閉じます。

デバイスナンバーを設定します。
接続する楽器のデバイスナンバーと合わせてください。

楽器との接続方法を設定します。
cable: i-MX1 または i-UX1 で接続する場合に選
択します。
wireless: ワイヤレス MIDI 接続の場合に選択します。
NOTE
ワイヤレスの場合、お使いの iPad で、設定 > Wi-Fi で Wi-Fi ネット
ワークの設定をしてください。

ノブの動作を選択します。
rotary: タップしたノブを回転方向になぞると、
追従して回転します。
linear: ノブをタップし、上になぞるとノブは右方
向に回転し、下になぞると左に回転します。

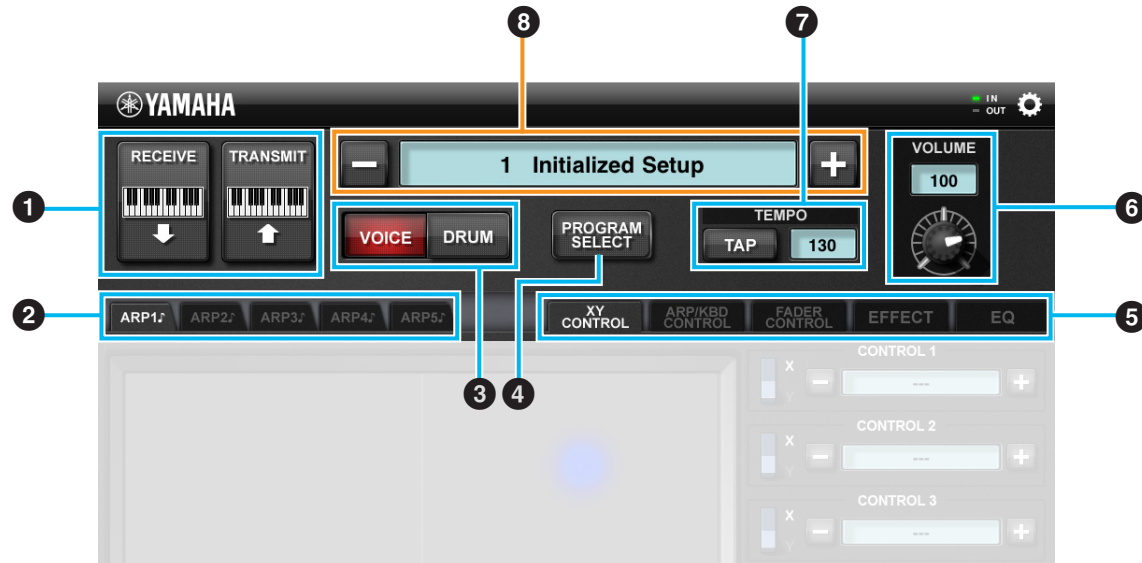
「ON」にすると、テンプレート* を切り替えたときに、
テンプレートデータを自動的に MIDI 出力します。

タップするとマニュアルが開きます。

エディターを初期化します。

画面共通部

XY CONTROL 画面、ARP/KBD CONTROL 画面、FADER CONTROL 画面、EFFECT 画面、EQ 画面の上部は共通です。

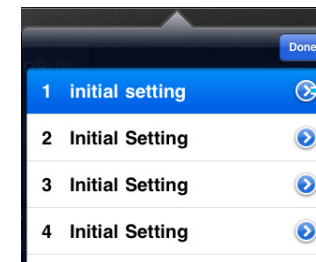


- ① **[RECEIVE]** をタップすると楽器からデータを受信します。
[TRANSMIT] をタップすると編集集中のテンプレートのデータをすべて楽器に送信します。
- ② タブをタップすると**アルペジオタイプ**の切り替えができます。
- ③ **ボイスタイプ**を選択します。ドラム音色の編集を行なう場合は **[DRUM]** をタップします。その他の音色の場合は **[VOICE]** をタップします。
- ④ タップすると、ボイスリストが開きます。ボイスリストで音色選択すると**プログラムチェンジ**ができます。
- ⑤ タップすると共通画面の下部表示が、**XY CONTROL 画面、ARP/KBD CONTROL 画面、FADER CONTROL 画面、EFFECT 画面、EQ 画面**に切り替わります。
- ⑥ ノブを操作すると**ボリューム**の調整ができます。値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作してボリュームを調整することもできます。

- ⑦ **アルペジオのテンポ**を設定します。**[TAP]** を3回以上タップすると、タップした間隔がテンポとして設定されます。数字をタップするとスライダーが表示されます。スライダーをドラッグしてテンポを設定することもできます。
- ⑧ **テンプレート名**をタップするとテンプレートリストが開きます。また、両脇にある **[-]**、**[+]** をタップして、テンプレートを変更することもできます。

テンプレートリスト

テンプレート名をタップすると、テンプレートリストが開きます。リストに表示されているタイプをタップするとテンプレートが切り替わります。



- タップするとリストを閉じます。
- タップすると、入力キーボードが表示され、テンプレート名が変更できます。

ボイスリスト

2通りの表示があります。

バンク表示によるボイスリスト

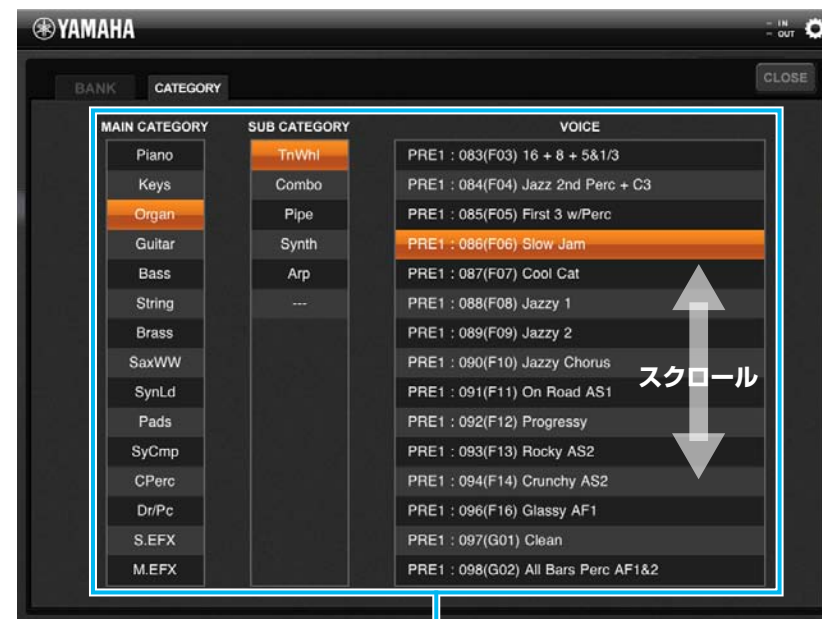


好みのバンクをタップし、ボイス名をタップしてボイス選択します。

ボイスリストを **BANK (バンク) 表示** / **CATEGORY (カテゴリー) 表示** どちらかに切り替えるタブ。タップすると切り替わります。ユーザーボイスが選択されていると CATEGORY タブは表示されません。

タップすると画面を閉じます。

カテゴリー表示によるボイスリスト



好みのメインカテゴリーとサブカテゴリーをタップした後、ボイス名をタップしてボイス選択します。

XY CONTROL 画面

この画面では、表示されている Pad をなぞるだけで複数のパラメーターの出力を複雑にコントロールできます。
楽器を演奏しながら、表示されている Pad をなぞると、複雑な音の変化を楽しめます。



Pad

Pad 上の操作位置を示します。
Pad をなぞると、ボールが追従します。

タップするとボールを
初期位置(中央)にセット
します。

Pad の滑りやすさを調整します。
右へスライドするほど、ボールが
Pad 上を滑りやすくなります。

コントロールパラメーターの設定

両脇の [-]、[+] ボタンをタップすると、
コントロールするパラメーター名が変更
されます。[-]、[+] ボタン間にあるパラ
メーター表示をタップすると、パラメー
ターリストが表示されます。リストのパ
ラメーター名をタップすると、コントロ
ールするパラメーターが設定されます。

コントロールパラメーターの出力値の設定

Pad 上でのボールの水平方向 / 垂直方向
のどちらの位置情報をパラメーター値と
して出力するかをタップして設定します。
選択されている側の文字が白色で表示さ
れます。
X: Pad 上の**水平方向**位置をパラメーター
値として出力する。
Y: Pad 上の**垂直方向**位置をパラメーター
値として出力する。

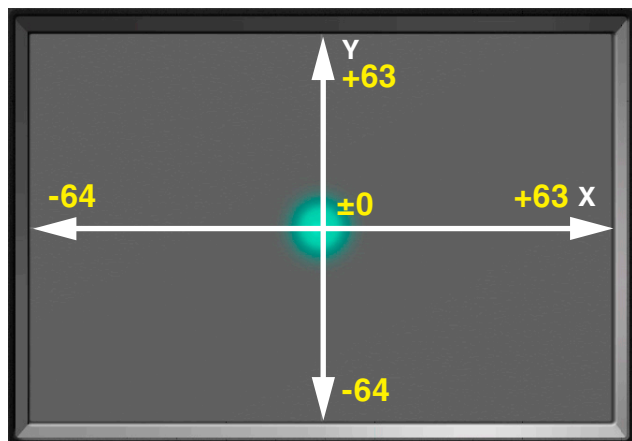
パラメーターリスト



ボールの位置と出力されるパラメーターの値との関係

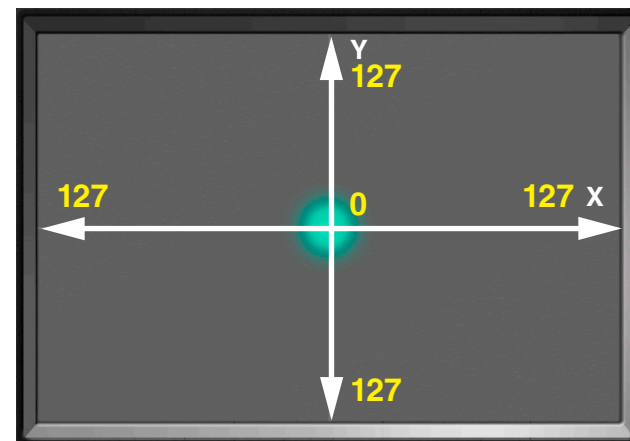
ボールが動くと、Pad 上での位置に応じて、CONTROL 1～5 にセットされたパラメーターの、値に対応するパラメーターチェンジまたはコントロールチェンジが楽器に送信されます。送信される値はパラメーターによって以下のように異なります。

Pan など、パラメーターの値が -64～+64 の場合



黄色の数字がそれぞれの位置での
パラメーターの出力値

Volume など、パラメーターの値が 0～127 の場合



対象パラメーター	出力フォーマット
AEG Attack	Common AEG Attack パラメーターのパラメーターチェンジ
AEG Decay	Common AEG Decay パラメーターのパラメーターチェンジ
AEG Sustain	Common AEG Sustain パラメーターのパラメーターチェンジ
AEG Release	Common AEG Release パラメーターのパラメーターチェンジ
FEG Attack	Common FEG Attack パラメーターのパラメーターチェンジ
FEG Decay	Common FEG Decay パラメーターのパラメーターチェンジ
FEG Release	Common FEG Release パラメーターのパラメーターチェンジ
FEG Depth	Common FEG Depth パラメーターのパラメーターチェンジ
Cutoff	Common Cutoff パラメーターのパラメーターチェンジ
Resonance	Common Resonance パラメーターのパラメーターチェンジ
Pan	Common Pan パラメーターのパラメーターチェンジ
Assign 1	Utility 画面 Controller Assign で Assign 1 に設定されている コントロールチェンジ
Assign 2	Utility 画面 Controller Assign で Assign 2 に設定されている コントロールチェンジ

対象パラメーター	出力フォーマット
Volume	Common Volume パラメーターのパラメーターチェンジ
Reverb Send	Common Reverb Send パラメーターのパラメーターチェンジ
Chorus Send	Common Chorus Send パラメーターのパラメーターチェンジ
Foot Controller 1	Utility 画面 Controller Assign で Foot Controller 1 に設定されている コントロールチェンジ
Foot Controller 2	Utility 画面 Controller Assign で Foot Controller 2 に設定されている コントロールチェンジ
A.Function 1	Utility 画面 Controller Assign で A.Function 1 に設定されている コントロールチェンジ
A.Function 2	Utility 画面 Controller Assign で A.Function 2 に設定されている コントロールチェンジ
Breath Controller	Utility 画面 Controller Assign で Breath Controller に設定されている コントロールチェンジ

※パラメーターチェンジの詳細は楽器本体の取扱説明書をお読みください。

ARP/KBD CONTROL 画面

The screenshot shows the '1 Initialized Setup' screen of the Yamaha Voice Editor. The interface includes various controls for ARP and keyboard settings. Annotations in Japanese explain the functions of several controls:

- ARP ON/OFF:** A toggle switch labeled 'ARPEGGIO' with 'ON' and 'OFF' positions. The 'ON' position is currently selected.
- ARP Hold:** A button labeled 'HOLD' and 'Sync OFF'. The 'Sync OFF' position is currently selected.
- ARP Type Selection:** A section with three columns: 'CATEGORY', 'SUB CATEGORY', and 'TYPE'. The 'CATEGORY' column shows 'ApKb', 'SUB CATEGORY' shows 'Genrl', and 'TYPE' shows '0707'. A red box highlights these three columns.
- ARP Name:** A text field showing 'MA_Pf Arp1'. A red box highlights this field.
- Transpose:** A section with a 'TRANSPOSE' label and a value of '+0'. A red box highlights this section.
- Octave:** A section with an 'OCTAVE' label and a value of '+0'. A red box highlights this section.

Annotations (from left to right):

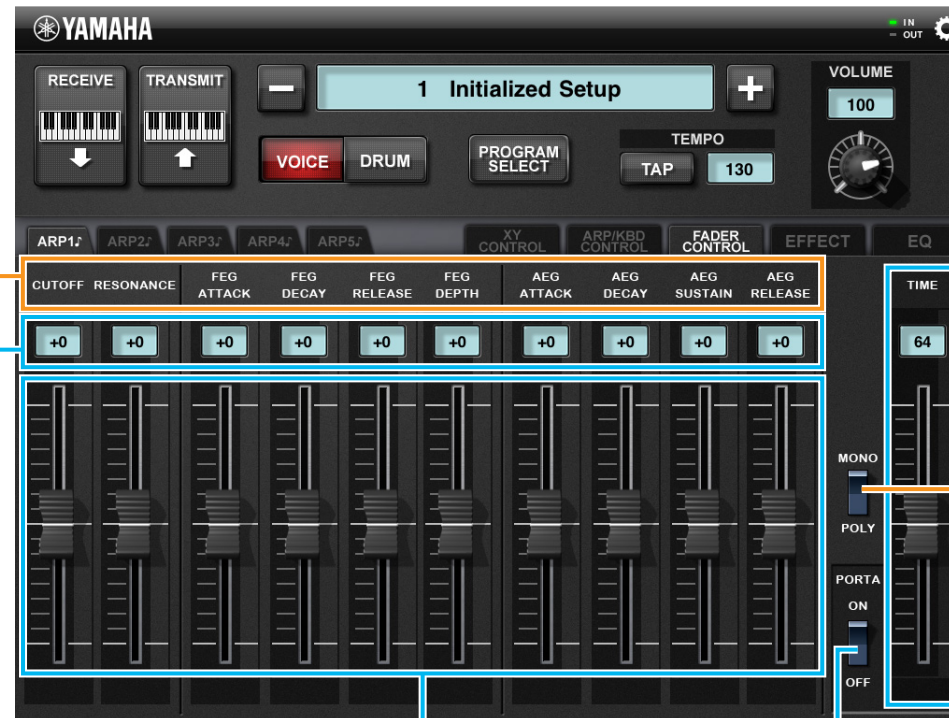
- タップして **ARP の ON/OFF** を設定します。
- タップして **ARP Hold** の ON/OFF を設定します。ON のときはボタンが青色、OFF のときは灰色になります。
- タップすると ARP Hold を **Sync Off** に変更します。Sync Off のときはボタンが青色、それ以外の場合は灰色になります。
- 左から順に、**アルペジオタイプメインカテゴリー、アルペジオタイプサブカテゴリー、アルペジオタイプナンバー**です。それぞれの表示両脇の [-]、[+] をタップすると値が変更されます。メインカテゴリーやサブカテゴリーが変更されると、カテゴリーの先頭のアルペジオタイプに変更されます。[-]、[+] ボタン間の表示をタップするとアルペジオ選択リストが開きます。リスト上でアルペジオタイプを選択できます。
- アルペジオタイプ名前**表示です。タップするとアルペジオ選択リストが開きます。リスト上でアルペジオタイプの選択ができます。
- タップすると**アルペジオタイプのバンク**を設定します。Preset Type の場合は、Pre の LED が、User の場合は User の LED が点灯します。
- トランスポーズ**の値を設定します。値を変更するには [-]、[+] をタップします。表示をタップするとスライダーが表示され、このスライダーでも変更できます。
- オクターブ**の値を設定します。値を変更するには [-]、[+] をタップします。表示をタップするとスライダーが表示され、このスライダーでも変更できます。

FADER CONTROL 画面

楽器本体のパラメーターをフェーダーで操作する画面です。
ボイスタイプによって、操作できるフェーダーが異なります。

フェーダーにアサインされている
パラメーターです。

パラメーターの値です。タップ
するとスライダーが表示され、
スライダーで値が変更できます。



フェーダー

モノ/ポリを設定します。

ポルタメントタイムをフェーダーで設
定します。値の表示をタップするとス
ライダーが表示され、スライダーでも
設定できます。

ポルタメントの ON/OFF を
設定します。

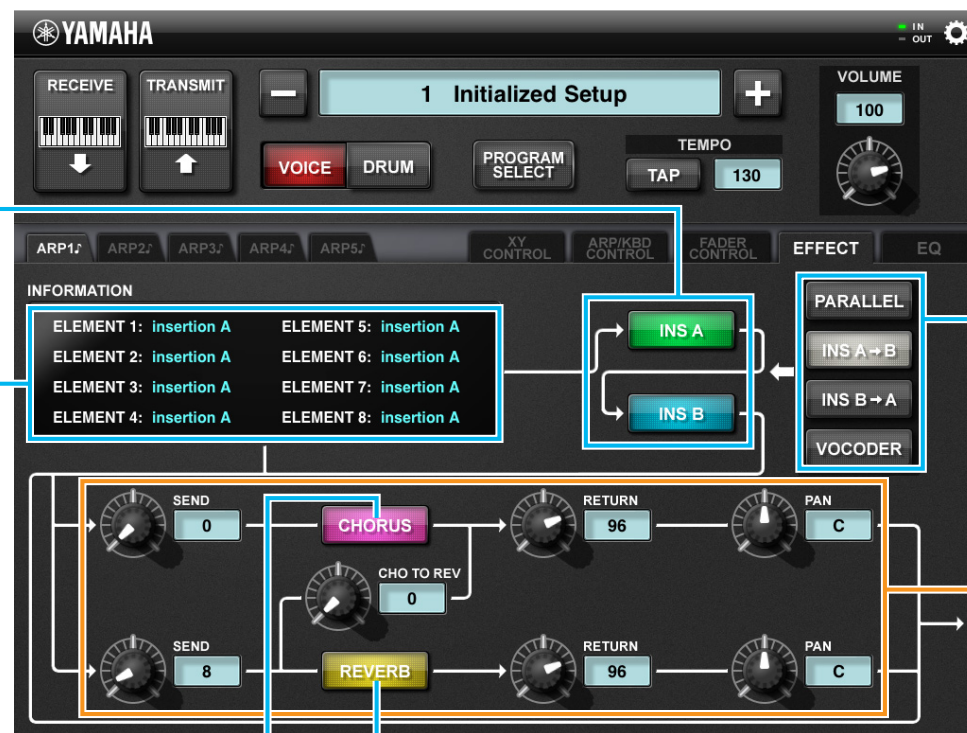
EFFECT 画面

[INS A] をタップすると Insertion A 画面が、[INS B] をタップすると Insertion B 画面が表示されます。

NOTE

Drum Keys に Insertion をかける場合、楽器本体で、Insertion Effect Output を ins A/ins B に設定してください。

ボイスタイプが VOICE の場合は、エレメントごとの出力先が表示されます。DRUM の場合は「Drum Keys」と表示されます。



インサージョンエフェクトの結線をタップして選択します。Vocoder を使う場合は [VOCODER] をタップします。

NOTE

VOCODER を利用する場合、楽器本体で A/D Input の Output Select を Ins L に設定してください。

ノブを操作して該当パラメーターを調整します。それぞれのパラメーター値をタップするとスライダーが表示されます。そのスライダーを操作して調整することもできます。

タップすると **Chorus** 画面に切り替わります。

タップすると **Reverb** 画面に切り替わります。

Reverb/Chorus/Insertion A/Insertion B/Vocoder 画面

Reverb/Chorus/Insertion A/Insertion B/Vocoder 画面は同じレイアウトです。



タップすると EFFECT 画面に戻ります。

エフェクトタイプセレクト

エフェクトタイプを選択します。CATEGORY/TYPE/PRESET 名をタップするとリストが表示されます。CATEGORY/TYPE/PRESET 名の両脇にある [-], [+] をタップしても、変更することができます。

エフェクトリスト

リストで CATEGORY > TYPE > PRESET の順に選択します。

エフェクトパラメーターエディット

調整したいパラメーターのスライダーをドラッグして値を調整します。
両脇にある [-], [+] をタップすると値を微調整できます。

画面を上下にドラッグするとパラメーターがスクロールします。



EQ 画面

ノブを操作してパラメーターを調整します。値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作して値を調整することもできます。



ゲイン

周波数

各バンドのゲインおよび周波数は、グラフ上で、バンドに対応した色のドットをドラッグすることにより調節できます。